

Y13b SDSS DR7 日本語版ウェブサイトの構築

吉田尚洋, 岡村定矩 (法政大学), Ani Thakar (ジョンス・ホプキンス大)

SDSS (Sloan Digital Sky Survey) の Legacy Survey は、1 億個以上の銀河 (と星) の位置と明るさを測定して、全天の約 4 分の 1 にわたる詳細な宇宙の地図を作ったサーベイプロジェクトである。この Legacy Survey のデータ (画像、測光データ、分光データ) は SDSS DR7 ウェブサイトで公開されている。このサイトは英語版、ドイツ語版、ハンガリー語版、スペイン語版、ポルトガル語版が運用されているが、日本はプロジェクトの主要参加国であるにもかかわらず日本語版がない。SDSS のデータを扱う日本語版サイトはプロジェクト初期に作られたもので、新しいデータにアクセスできないことに加え、新しい研究体験ページに対応していない。我々は、SDSS DR7 ウェブサイトの中でも、研究者だけでなく一般の人々も利用するページを中心に日本語版の構築を行っている。具体的には、天文学の基礎「Astronomy」ページ、SDSS プロジェクト「SDSS」ページ、学習向けの研究体験「Projects」ページがある。これらのページの日本語版を作れば、天文学の教材として活かせること、また一般の人々が天文学に関心を持つきっかけを作ることに繋がる。

SDSS ウェブサイトのミラーサイトからサイトの圧縮ファイルを自分のコンピュータにダウンロードして作業をする。サイトの階層ごとに分かれているフォルダ内の「.asp」ファイル中の該当する文章を英語から日本語に翻訳している。翻訳に際しては、日本語としての読みやすさを優先し、原文の構造を壊さない範囲で意識することを意識した。また翻訳版に合わせて、画像のサイズ・位置の調整など、見やすい形にするための作業も行っている。2015 年 12 月までに「Astronomy」と「SDSS」を完了した。「Projects」を含めすべての作業が完了したら、ファイルをアメリカの管理者へ送付し、本家サイトに日本語版としてリンク付けしてもらう予定である。